

「令和元年度 日南・串間地区大規模氾濫等減災協議会」開催

宮崎地方気象台、日南市、串間市及び宮崎県が連携して大規模氾濫等に対する減災対策をハード・ソフト両面から一体的に推進するため、昨年度に引き続き協議会を開催しました。

今回の協議会では、昨年度、県の土木事務所が実施した日南市や串間市へのホットラインの状況の報告や潟上川のタイムラインの改訂の説明がありました。

このほか、これまでの台風や大雨時にどのような状況で避難の発令がおこなわれたか報告されました。

さらに、気象台に近年の集中豪雨の特徴等について解説いただきました。

開催概要

- 日時：令和元年5月30日（木）
- 会場：日南総合庁舎第5会議室

議事内容

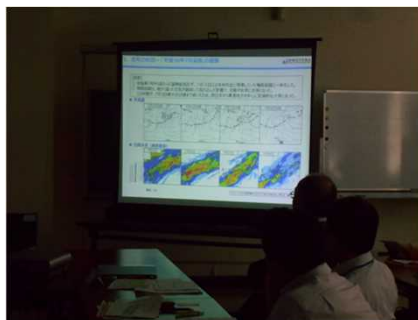
- ・昨年度のホットラインの実施状況について
- ・想定最大規模の浸水想定区域について
- ・潟上川のタイムラインの改訂について
- ・近年の大雨の状況について

出席者の主な発言

- ・潟上川のタイムラインの基準となる水位について、水防団待機水位が1.90m、氾濫注意水位が2.50mに設定されたが、リードタイム等を十分に配慮したものであることが分かった。

- ・昨年の台風24号や今年5月の豪雨では、前日の明るいうちに高齢者には避難してもらった。

- ・今年5月の豪雨は、明け方であったがホットライン等を受けエリアメール等で避難を呼びかけた。とにかく多くの人に早く周知する必要があると考える。



- ・近年、大雨の発生の頻度が増えるとともに、雨が降らない日も増加している。局地的に短時間で激しい雨が降るため洪水や土砂災害のリスクが高まる傾向にある。

- ・住民自ら自分の命を守る行動を取れるよう支援の情報を提供することが行政の役割である。避難の発令のタイミングの見極めに気象台の発表する土砂災害に関するメッシュ情報等の危険度マップを活用して欲しい。

協議会の出席者

機関名	所属等	氏名	代理出席等	
気象庁 宮崎地方気象台	台長	吉松 和義		
宮崎県 総務部	危機管理局长 兼危機管理課長	温水 豊生	課長補佐 嵯原 真治	
	県土整備部	河川課長	高橋 健一郎	課長補佐（技術） 松山 英雄
		砂防課長	原口 耕治	主幹 松山 重保
		日南土木事務所長	小倉 弘康	
		串間土木事務所長	有馬 誠	
日南市役所	市長	崎田 恭平	副市長 田中 利郎	
串間市役所	市長	島田 俊光		

